パスコード:140010　パス名称:開頭腫瘍摘出術(H27/12/17)

		術前						手術		術後	
目標		不安が軽減され、手術に臨むことができる						トラブルなく手術が終了する		トラブルなく経過することができる	
		手術の必要性を患者・家族が理解できる						術後全身状態が安定し安静が保たれる		食事が開始され離床が順調に進む	
		手術に必要な検査・処置が完了する								SSIや他の全身性合併症を起こさない	
		5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	当日 術前	当日 術中	当日 術後	1日後	2日後
検査	放射線									CT	
	検体検査									血液検査	
	生理検査										
投薬		常用薬内服継続								昼より内服再開	
		デカドロン、抗けいれん剤内服の場合あり				眠剤処方(不眠時)					
注射						点滴オーダー確認		術中デキサメタゾン、抗生剤(CEZ)、マンニトール持参	術後点滴(60mL/h)	点滴続行(80mL/h)	点滴続行(80mL/h)
									輸血ライン(20mL/h)	CEZ1.0g×3	CEZ1.0g×3
									デキサメタゾン6.6mg	デキサメタゾン6.6mg×2	デキサメタゾン6.6mg×2
									プロポフォール(20mL/h)	プロポフォール(20mL/h)	
処置		弾性ストッキング装着									
						術前処置(入浴、洗髪)	術前処置(マーキング、弾性ストッキング)		酸素吸入(マスクまたはTピース)		
									フットポンプ		
										ドレーン抜去	
手術			次週予定手術締め切り(9:30までに入力)					開頭腫瘍摘出術			
輸血		手術前日までに交差用採血(採血日に移動して適用)									
リハ依頼											
服薬指導依頼		薬剤使用開始時に依頼									
栄養指導依頼											
移動・食事	安静度	フリー(入院前と同様)							ベッド上安静	ドレーン抜去後、歩行可	
	栄養	食事(入院前と同様)					絶飲食			昼より食事再開	
						術前補水					
	清潔	入浴・シャワー浴可								清拭	
	排泄	トイレ(入院前と同様)						バルンカテーテル留置		バルン抜去後、トイレへ	
看護情報	検温	1検							30分×4、1時間×2、2時間×2、以後4時間チェック		
									心電図モニター		
									SpO2モニター		
									自動血圧計		
									A-ライン	3検	
									ドレーン排液量		
	意識・神経症状	意識レベル(GCS)									
		頭痛									
		嘔気・嘔吐									
		痙攣									
		めまい									
		運動麻痺									
		感覚障害									
									瞳孔異常		
									眼球偏位		
									創痛		
									創出血		
バイタル											
カルテ											
確認	医師確認事項	入院診療計画書				手術同意書			手術結果の説明	検査結果説明	
						輸血同意書					
						血液製剤使用同意書					
	看護確認事項	入院オリエンテーション				手術同意書			安静度の説明		
		必要物品の説明				輸血同意書			ナースコール指導		
		アレルギーの有無				血液製剤使用同意書			不隠時、身体抑制同意書		
						禁食札			不隠時、家族への電話の可能性		
	事務確認事項										
文書											
紹介											

							退院準備				
							退院の準備ができる				
							離床が順調に進む				
							SSIや他の全身合併症を起こさない				
3日後	4日後	5日後	6日後	7日後	8日後	9日後	10日後	11日後	12日後	13日後	14日後
				CT							CT(必要時)
				血液検査							
必要時、点滴続行(オーダー確認)											
				抜糸・抜鉤							
	フリー										
シャワー浴可(洗髪時、ドライヤー後消毒必要)					入浴・シャワー浴可						
	2検				1検						
				検査結果説明							退院後療養計画書(退院日に移動して適用)
				退院日の相談							次回外来日を指示(退院日に移動して適用)
											患者状態・受け入れ先の事情等により退院できない場合は、急性期以降のパスに移行